

市民活動状況

| | | |
|------------|--------|----|
| 市内NPO法人数 | 31 | 団体 |
| 当センター登録団体数 | 122 | 団体 |
| 当センター登録会員数 | 6,656 | 人 |
| 2月来館者数 | 1,790 | 人 |
| 2月印刷機利用枚数 | 22,820 | 枚 |

H29年2月現在

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者 NPO法人 茨城県南生活者ネット龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や大会議室・
小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間(午後10時まで)利用可能です。
休館日 = 月曜日および年末年始
〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571
E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL http://r-shimin.sakura.ne.jp/

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その51

自慢したくなるふるさと龍ヶ崎の創設に向けて！

さあ、「オールリゅうがさき」で市民活動日本一をめざそう！

当市民活動センター主催の「市民活動団体のつどい」が開催された。
基調講演として「つくば市民活動センター」の指定管理者である「NPO法人スマイル・ステーション」
松浦代表理事による「市民活動啓発セミナー 皆さまの活動をビジネスに」を傾聴した。
都市型市民活動のつくばでは、さまざまな市民ビジネスが誕生している。
なるほどこんなことまでビジネスになるのか、と驚嘆した。それにしても発想が豊というか、攻撃的というか我が
龍ヶ崎がとてとても追いつけないような多岐にわたる市民活動を紹介していただいた。
その後は龍ヶ崎で活躍するNPO団体のワークショップによる交流会を開催し、それぞれの自慢と課題について
意見交換した。
深澤市議会議員(環境生活部会)、市民協働課櫻井課長補佐、流通経済大学赤石事務局長殿、NPO法人スマ
イル・ステーション松浦代表・藤原理事を来賓にお迎えしての幅広い交流の場が誕生しました。
つくばの皆さんと龍ヶ崎との意見交換には「我がまちを如何にして創り上げるか？」という点での思想の差異が
発見され、それが緊張感となり、そして今後の展開にほのかな希望が生まれました。
最後に市民活動センターからこれからの活動の方向性の提案をしました。
①龍ヶ崎市市民活動センターは近隣センターとの交流活動を開始する。
②他市センターの調査・研修活動を計画する。(龍ヶ崎onlyの市民活動日本一！を探し出す。)
③市民活動自慢大会の開催の企画に着手する。



等々、参加者間の繋がり、盛り上がりを確認できた一日になりました。



ひたちなか市市民交流センターの皆さんが視察・研修で訪問しました

指定管理者「NPO法人 未来ネットワークひたちなか・ま」の高島理事長、五十嵐市民交流センター長他スタッフ、会員の皆さん約20名による龍ヶ崎市市民活動センターへの視察受け入れでした。

視察・研修の内容は

- ①龍ヶ崎市市民活動センターの活動内容
- ②市民活動センター利用団体、企業、行政との連携
- ③情報の発信・提供について

さらに、施設見学にあわせて管理運営の在り方などについても活発な意見交換が行われました。

相互の活動内容の違いを確認することで、お互いの特徴・利点を見出し、これからの「市民活動日本一」に生かすこととしました。



つくば市民活動センターを訪問しました

県南地区市民活動センターのトップランナー「つくば市市民活動センター」(皿田センター長)を訪問しました。

「つくば市市民活動センター」は指定管理者「NPO法人スマイル・ステーション(松浦理事長)」が運営しています。

前回の、皿田センター長の龍ヶ崎への訪問に続いてのこちらからの視察・訪問は、

- ①県南地区の市民活動センター交流会の発足
- ②市民活動センターが企画するNPO交流会への講師派遣のお願い

の2点が主な目的でした。

施設スペースは龍ヶ崎市市民活動センター程広くはないものの、場所柄が若者が集まり、活発な市民活動が展開されている熱気と、市民活動イベントカレンダーの内容の豊富さにはただただ驚嘆しました。



後ろ左から 松浦理事長 皿田センター長

龍ヶ崎相撲甚句会 作詞「ご当地 稀勢の里初優勝・横綱昇進甚句」



龍ヶ崎相撲甚句会(伊藤会長)の皆さんが、「稀勢の里初優勝・横綱昇格」を祝して相撲甚句を作詞しました。名付けて「ご当地、稀勢の里甚句」そのお披露目会としてライブ放送に動画収録しました。市民活動センターホームページからご覧いただけます。
♪「ああ～ 72代の新横綱はヨ～ 龍の子育ちの稀勢の里平成29年1月場所 ドスコイ!ドスコイ!……」
龍ヶ崎の新たな名物になればいいですね。

市民活動センターからのお知らせ

毎年恒例の市民活動団体限定出店の「市民活動応援市」を5月中旬に開催します。

出展希望団体は準備してください。

利用者パソコンが故障中です。ご不便をおかけしています。現時点で復帰時期は5月予定です。

龍ヶ崎短歌会

被災者の哀しみを秘め鬼怒川は思い出流し季移ろいぬ
筑波なる日展の師の飼う丹頂一声哭いて亡き妻を呼ぶ

皆川孝子
海老原龍夫